



並木中等story

令和4年7月22日号

7月22日に実施した全校集会での校長挨拶の抜粋です。

●リーダーの大切な役割に将来を見通すということがあります。人生100年時代、仮にみなさんが100歳の頃を、ちょっと見てみましょう。2100年、日本はどうなっているでしょうか。人口はどうか。現在は約1億2550万人です。2100年は約半分の6400万人です。これは大正7年頃と同じだそうです。世界の人口はどうか。現在は80億人です。2100年は112億人です。ここで問いです。このような極端な変化が予想されている今、この日本を支えるリーダーにはどのような資質が大切でしょうか。

●先日、企業の方々が参加するフォーラムに参加しました。その中で、「日本の競争力の話題になりました。1990年代以降、日本はいろいろな分野で他国に抜かれている状況にあります。一時期の栄光にあぐらをかいていたと厳しい指摘をする人もいます。柔軟に考えられずに変化に対応していない人が多いと話す人もいました。このままではダメだ。同じ事をしていてはダメとはっきり言っていました。また、その場で学校も既存の学習だけをしていてはダメとも、はっきり言われました。では、何が必要なのか。私が学んだのは、**考えて、考えて、考え続けることです。そして、新たなシステムを作ることです。**そのために必要なことは“チームで考えられる事、いろいろな人、機関、企業と手を結んで考える事”なのだそうです。“優秀な一人だけ”を頼っていたのでは作り上げるまでに時間が足りないのだそうです。そのようなこともあり、今、大企業の新入社員に要望する資質はコミュニケーション能力、主体性、チャレンジ精神、協調性になっています。

皆さんにも、夏休みにこの世の中を見つめ考えてほしいです。そして、“何もしないでいいのか？”“何をすべきなのか？”を自らが社会を動かすつもりで考え、友達と意見をぶつけ合ってほしいと思います。

●最後に一つ。先ほどの企業の方々が新規採用者に求めることの話です。新規採用者に求めることのトップがコミュニケーション能力でした。その**コミュニケーションの中で最も大切なことは何か**、皆さんは知っていますか。簡単で誰でもできることだけど、並木中等の生徒にはできない人が多いものです。その答えは**挨拶です**。皆さんにも挨拶というコミュニケーションのツールを使いこなしてもらいたいです。私からは以上です。

※夏休みに入るため、次回の並木中等storyは**9月1日**に発行します。